

会員とセンターをつなぐ広報誌

生きがい八王子

第 118 号 2023 年 夏号

編集・発行



公益社団法人

八王子市シルバー人材センター

〒192-0062 八王子市大横町 11-35

TEL 042(626)1274

FAX 042(626)5159

✉ hachioji-sc@sjc.ne.jp

H.P. <https://hachioji-sjc.org>

八王子市シルバー人材センター

検索



園部会長をはじめ役員及び会員の皆様のご尽力により、八王子市シルバー人材センターが発展を続け、地域に貢献してこられましたことに敬意を表します。

また、日頃から「広報はちおうじ」の配布や施設の管理業務など、多岐にわたる本市の事業について、ご協力いただき感謝いたしております。

本市の令和5年7月末現在の人口は561,403人、このうち65歳以上の人口は155,383人、高齢化率は約27.7%となっております。

近年では、健康寿命の延伸に伴い「人生100年時代」といわれるようになりました。今後、更なる少子高齢化が進む中、地域の活力を維持・向上していくためには元気な高齢者の活躍が欠かせません。

本市では令和5年4月にスタートいたしました新たな長期ビジョン「八王子未来デザイン2040」において、「誰もが安心して暮らすための地域福祉の推進」として、「高齢者の雇用機会の拡大と就労定着の支援」を掲げています。この将来像を実現していくために、今後とも会員の皆様のご協力をお願いいたします。

会員の皆様のようにいつまでも若々しく過ごされるためには、生きがいを持つことが大変重要です。八王子市シルバー人材センターの活動は、経験や能力を生かした就業を通して、高齢者の社会参加の促進や生きがいづくりに貢献されています。

労働者派遣事業においては、令和3年度に引き続き令和4年度も都内シルバー人材センターで一位の受注実績でした。これは、会員の皆様ご自身の努力によるものであり、大変嬉しく思います。

八王子市シルバー人材センターにおかれましては、今後も会員を増やしていただき、長年培ってこられた経験や能力に適した就業先や新規事業の開拓に積極的に取り組んでいただくことを期待しています。

結びに、八王子市シルバー人材センターの益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



八王子市長・
八王子市シルバー人材センター名誉会長

石森 孝志
たかし けいし



八王子市シルバー人材センター
会長 園部 正範 (7475)

第13回定時社員総会後の臨時理事会で会長に推され再度会長に就任致しました。皆様のご支援よろしくお願ひします。

社会は長寿で高齢化し少子化とも相まって、シルバー世代の社会における役割も益々大きくなってきました。

前期はコロナ下3年目を迎え世の中の動きもじわっと回復基調の中、当シルバー人材センターも会員皆様の積極的な就業と事務局職員皆様の節約志向により3年ぶりの黒字決算となりました。ご同慶の至りです。さて、この勢いで今期もと言いたいところですが、2月に市から受けていた学校支援の大型契約を失うことになり、今期の事業運営も大変厳しいものになりました。引き続き緊縮財政が必要です。事務局では補助金の増額を要請していますが、新規事業の受注にも取り組みこの困難を乗り越えていきたいと考えています。

会員の就業中の事故が依然として多く発生しています。傷害事故18件のうち12件が「転倒事故」です。転倒はいつでもどこでも起こりえます。皆様お出かけの際は「転倒防止」と心で念じてお出かけください。転倒事故で骨折し、その後就業はもとよりご自身の生活に支障をきたしている方も多くなっていますので、是非ご注意ください。

会員のルール違反による不祥事が増えています。当シルバー人材センターも多くの規則があります。職種班規則も含め規則には長い間の活動での知恵が結集されています。規則を守ってお客様に喜ばれる適正な就業に努めてください。

この一年、会員皆様の人生がハッピーであります様祈念いたします。



常務理事 伊比 洋司 (特 43)

第13回定時社員総会を、多くの会員の皆様にご来場いただき無事開催できたこと、あらためて御礼申し上げます。引き続き、常務理事として、全力を挙げて、センター運営に携わってまいります。

本年度の総会は、市長・市議会議長にもご臨席を賜り、更に総会終了後は、落語家の「桂文ぶん」師匠から、楽しいお話しもいただきました。また、センター活動もかなり復活してきましたので、ご来場いただいた皆様もお気づきかとは思いますが、ロビーのセンター運営に関する展示物も、昨年比べて大きく増やすことができました。

さて、話は総会でも報告させていただいた、当センターの運営状況になります。昨年度は、仕事の状況も、コロナ禍以前を上回る実績となり、3年ぶりに当センターも黒字決算とすることができました。会員の皆様一人ひとりの新型コロナ対策により業務に大きな影響が出ることなく対応できたことが最大の要因と感じております。改めて皆様の努力に感謝申し上げます。しかしながら、令和5年度につきましては、市との契約の中で最大額であった、「学校管理員」業務について、契約の継続をいただく事が出来ず、大変厳しい状況が予想されます。

新規の契約は順調に伸びていますが、学校管理員契約の穴を埋めるには程遠い状況であり、事務局運営・委員会運営ともに思い切った見直しを行い、経費節減に勤めてまいります。更に、八王子市からの追加契約を始め、新たな仕事の受注にも全力を上げて取り組み、安定した運営体制を維持して行きたいと考えております。





新役員紹介

新理事挨拶



中部地区
富山 隆 (10986)

令和5年から八王子市シルバー人材センターの理事に新たに就任いたします富山です。

私は入会してから市広報の配布、放課後子ども教室安全管理員等の就業をしております。また、派遣業務としてヤマト運輸に5年間就労しております。

これらの就労経験等を活かしまして、会員の就業条件や就業業務を検討し、安全で安心な体制の確保や会員のより良い働きたい環境整備に貢献していきたいと思っております。



東部地区
金丸 英子 (12097)

私はシルバー人材センターの会員になって、もうすぐ三年目になります。

その間いくつかの仕事を経験させて頂き、会員の方達とお話をする機会も増え、ある方から仕事の悩みの相談を受けました。アドバイスを困り、ある役員の方にお願ひしたところ、後日相談者から「解決しそうです。」と嬉しい連絡を頂きました。自分では何もできなかったであろう問題が、多くの方々の支えや理解の元に解決出来たと強く感じた出来事でした。

この度の理事のお話をお受けする事には戸惑いもありましたが、これからも現場を知り、委員会等への参加で、会員の方のご相談にお応えできる様になればと思ひます。どうぞご指導、ご協力よろしくお願ひ致します。



西部地区
野間直紀 (11237)

この度、西部地区から理事を務めさせて頂くことになりました。2018年にシルバーに入会し、主に広報配布の仕事をしております。

担当する常任委員会は総務、業務安全です。

理事会と各委員会では、会員皆様の意向を伺い。微力ではありますが皆様が日々安全で働き、お力が発揮でき、達成感が味わえるよう努めて参りたいと思ひます。

会員皆様の御指導、御協力のほど宜しくお願ひ致します。





西部地区
三浦和春
(11722)

初めまして。少し自己紹介をしますと、私の経歴は警察官・大学職員・児童相談所職員を経て、その後シルバー人材センターでの仕事を3か所経験しております。その過程で感じたことは人との交わりが一番大事な事として痛感しております。

どの職場においても自分として本意な気持ちで終わっている部分が多々あります。今回この仕事を引き受けるに際しても躊躇した面もありますが、自分が未だ健康であり社会に少しでも役立つことが出来るのであればと思いきや、挑戦してみることに決意しました。

高齢になっても社会とかかわりを持ち、仕事ができることが生活にメリハリを持たせ生きる喜びに感じる事に繋がるのではないのでしょうか。シルバー人材センターの一員として少しでもお役に立つよう微力ながら頑張りたいと思っております。よろしくお願いたします。



西南部地区
瀬沼英子
(12066)

八王子に生まれずっと八王子から出ることなく過ごしてまいりました。

子育ても終わり社会との繋がりも薄くなつていくことに危機感を感じていた時に自宅郵便受けにシルバー人材センターの会員募集のチラシが入っていました。

シルバー人材センターに私もできる仕事があるのでと思いつくに入会することになりました。そしていくつかのお仕事を紹介していただき現在も就業させていただいております。

今回、理事をさせていただくことになり大変緊張しております。無理をせず自分のできることを考えながら活動してゆきたいと思っております。宜しくお願い致します。



西南部地区
中村一彦
(10986)

この度、第13回定時社員総会において、理事に選任されました。八王子市シルバー人材センターに入会して5年が経ちますが、これまで広報配布等に携わり、また現在は、地域班長と広報配布班リーダーを担当しています。

現在シルバーでは新型コロナウイルスの影響などから、赤字決算が続いており、経費削減等が余儀なくされています。また、シルバーの主要な業務でもある広報配布業務においては就業人員が不足し、深刻な事態に陥っている地域もあります。

今後は、これら問題を解消するため、シルバー内の情報と人間関係が勝負のポイントになると考えています。

このため、他の理事の皆様と事務局の職員の皆様、そして地域の会員の皆様とのコミュニケーションを大切に、様々なアドバイスを受けて、問題解決に頑張る所存ですので、よろしくお願致します。



新監事挨拶



行田敏久
(12920)

この度、監事に就任させて頂きました「行田」で御座います。私は、民間企業で「経理・営業・商品開発・経営」の業務を行って参りました。

又、直近では「監査役」を10期経験しました。関わる法律は、「会社法」から「法人法」に変わりますが、「監事」の役割としては「監査役」と殆ど変わりありません。

当センターの「監事」として「先任監事」として連携し「業務監査」「会計監査」等を行っていき、「監査報告書」を提出させて頂きたいと思っております。その為「理事」及び「職員」の皆様の貴重なお時間を頂きますが、ご協力の程お願い致します。

そして、会員の皆様には、より良い「健康づくりと生きがいづくり」の提供ができるセンターになれるよう「監事の役割」を果たす事で少しでも貢献したいと考えています。今後とも宜しくお願い申し上げます。

常任委員会

〔総務委員会〕

通常の日常が戻ってきました。ところが施設管理の仕事が全て民間の会社に移行し大きな財源が失われてしまいました。コロナ禍の減収もありましたがそれ以上に経費節減をしなければ令和5年は運営出来ない状況です。失注した原因の一つに会員の品質低下や八王子市からの仕事は常に契約出来ると思われ、営業努力をしていなかったシルバーの体質に問題がありました。そこで今年度は

- ①財務状況の把握
- ②増収策の創出
- ③会員の品質向上に向けた各種研修会
- ④役員報酬制の導入
- ⑤シルバー五カ年計画の推進
- ⑥会員拡大と就業開拓（特に女性会員の増加）

これまでの良かった点を生かし、課題解決に努力し、会員の皆様がシルバーに入っていて良かったと思っていただけのように総務委員会は活動して行きます。

〔地域委員会〕

地域委員会では、令和5年度も経費を抑えつつ会員のモチベーションを高め、会員及びシルバー人材センター全体の活性化をはかる

ため次の項目に取り組みしていきます。

○会員の拡大
地域班が中心となり、会員の口コミ等により地域高齢者の入会を促進していきます。

○組織の強化

6地区毎の会議を随時開催し理事・地域連絡員・事務局のコミュニケーションを促進し、地域班の一層の活性化をはかっています。

また、役割を現状の任務に合わせて名称変更した地域連絡員（旧称 班長・副班長）の研修会を開催します。

○ボランテア活動

センター全体での、市施設の環境整備、浅川清掃、いちよう祭り等のボランテア活動を継続するとともに、各地域での、青少対活動、公園清掃、八王子流鏑馬ボランテア等に取り組んでいきます。

そしてこれらの取り組みを着実に実施するため、早めの声かけを行い、地区毎に地道な活動を進めていきます。会員の皆様の積極的な参加をよろしくお願いたします。

〔業務安全委員会〕

業務安全委員会のご紹介をしたいと思います。

昨年度、総務委員会で「7つの委員会の統合について」、検討

されていた事や今年度の大型契約失注に伴い組織運営の見直しが必要となった経緯も併せて、今年7月から安全管理委員会と業務委員会及び就業対策委員会を統合する事になりました。

安全管理委員会、業務委員会のこれまでの活動は、会員皆様が健康で安全に働くことができるための活動計画策定・実施や就業上の事故分析・再発防止について検討・展開する事、会員の就業上の問題を解決する事、職種班活動に関する事等を、就業対策委員会、会員の不適性就業の矯正、就業問題の審査等をそれぞれの委員会で行っていました。

この度、これらの委員会を統合することにより、会員の皆さんには、就業に関連するサポートが一元化されることによりこれまで実施されていた関連する他の委員会との調整等が不要となりより迅速な対応が出来るものと期待しております。

会員皆さん、事務局の皆さんのご協力、ご支援をおおぎながら皆さんの期待にそえられるような活動を進めてまいりたいと思います。



転倒注意

〔広報委員会〕

今年度の取り組みは大きく三点あります。

第一は機関紙「おおるり」「生きがい八王子」の発行、ホームページ、ブログ更新及び、市民の身近なメディア媒体に広告を出します。

第二はセンターの活動の広報PRを行うため、いちよう祭り、技能祭などのイベントやセミナーに参加します。

第三は活動を支援する企業や団体と就労支援、地域貢献ボランテア等にて連携します。

広報委員会は活動内容を広く周知し、利用を促進することでシルバー人材の活躍の場を広げ、地域社会に貢献することでセンターの活動に賛同、協力者を募ります。

基本は、センターの活動や会員の権利義務について会員、地域に理解を深めてもらうことです。会員の啓蒙、啓発によりシルバーの活躍の場である就労、ボランテアの場合が広がり、地域社会が更に生き活きるよう、会員全員参加型で取り組んで参ります。ご協力ご支援をよろしくお願いたします

事務局だより



事務局長 小俣 勇人

昨年4月に八王子市シルバー人材センターのお世話になり、この4月から事務局長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

当センターは設立より45年を過ぎ、この間、会員の皆様には長年培った経験と能力を生かしながら、就業を通して「健康と生きがい」を見つけ、地域社会の発展に貢献されてこられたと思いますが、まずは「安全就業」を第一に考えていただき、さらにご活躍をしていただくことが大切なことであり、大変ありがたいと思っております。

現在、65歳定年制や70歳までの継続雇用制度など高齢者の就業促進を図り働く環境等を整備し、高齢者が社会のあらたな担い手となる期待が高まっております。また、当センターの組織運営を効率的に推進するための各委員会、地区の活動にも会員自らが積極的に取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。

超高齢化社会の現在、当センターの役割は益々重要となつてきており、より一層地域に根ざした信頼されるセンターに会員の皆様と共に行きたいと思ひます。

微力ながら、事務局職員とともに頑張っていきたいと思ひつておりますので、

会員の皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

職種班だより

筆耕班 吉田 俊介

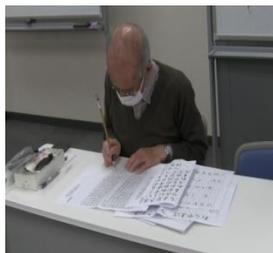
(11381)

「努力に勝る・・・」

妻をなくして三ヶ月経つた頃、電話を受けようとすると声が出にくい。そういえば食事にもむせることが多くなつたような気がする。考えてみればこの三ヶ月ほとんど誰としゃべっていなかったのだ。これはいかん！一念発起してシルバー人材センターに申し込みに行った。ところが何をやらうかよくわからない。ここはままと筆耕班を選ばせてもらった。書くことに興味があり好きだったからだ。その後紆余曲折したが教室には全出席し毎日朝夕筆を持った。「努力に勝る・・・なし」と自分に云いかせた。

最近筆耕の仕事も少しずつ委せられるようになり仲間達とのコミュニケーションも少しずつとれるようになりジワジワと面白さが増えてきているように感じる今日この頃である。

当初クセ字で使いものにならなかつた私を鍛えてくれた先生方先輩方にあつたため感謝したい。因みにその後喉の異変はおこっていない。



刃物研ぎ班・植木班 石井 一

(11400)

「私の生きがい」

第二の人生として一念発起、新たなスタートを考え退職して進んだのが都職業能力開発センターの庭の植栽管理の学科でした。その修了生のOB先輩の助言によつて考えになかつたシルバー人材センターの植木班に入り、面接で刃物研ぎ班のお誘いを頂き今は二つの班で、メンバーはちがえど元気な70代の人生の先輩、同じ趣味の仲間と楽しく毎日を過ごしています。

剪定鋏や鎌しか研いだことしかありませんでしたが、包丁研ぎの奥深さ、刃の付く感覚は男性を魅了させます。どちらの班も和気あいあいと自分の技術を上げる為に、分からないことは素直に訊ね、素直にまずは耳に入れます。

幾つになつても、まだまだ勉強、これからも勉強と考えています。

* 刃物研ぎ班 作業風景



地域だより

東南部地区 剣持 アイ子

(8368)

八王子流鏑馬にボランティア参加

5月28日(日)片倉つどいの森公園にて八王子流鏑馬が4年振りに開催されました。伝統的な騎乗弓術の披露やステージイベント、体験コーナー、模擬店などもあり、広い緑の公園は2万人もの人で賑わい、皆さん楽しく過ごされました。

この八王子流鏑馬に会場内の見廻り、駐車場の管理、本部席での諸対応等々を担当するボランティアに、東南部地区の地域活動の試みとして初めて参加しました。開始時は手間取りましたが、徐々にスムーズに対応できたと思います。

また、シルバー会員同士がこの機会にいろいろと情報交換して大変有意義な一日になりました。

ボランティアとしては前日の会場準備、翌日の片付け作業にも参加、これらは手際良くこなし、主催者側から厚いお礼のお言葉を戴きました。ボランティアに参加された皆様大変ご苦労様でした

次ページ・

「八王子流鏑馬」を

ご覧ください。



西南部地区

設楽 和子

(7145)

健康寿命が延び人生百年時代と云われていますが、寝たきりで百才を迎えても決してハッピーではありません。誰もが健康で悔いのない老後を送りたいと願っています。

私が住んでおります高尾地区では健康で長生きなさっている90才代の高齢者が何人もいらつしやいます。お話を伺ってみますと共通して言えることはポジティブに物事を考え生活を楽しんでいらつしやることです。

日々の散歩、趣味を同じくする友人とのサークル活動、町会イベントの参加等々、それぞれが前向きな生活を送っていらつしやいます。健康長寿クリニックの白澤卓二先生の書物に書かれていることを挙げますと

① 人生の目標 ”をいくつになっても持ち使 命感を持つこと。

② 長生きすることが目標ではなくやりたいこととがあり、自分の脳の個性を上手に使っている人

この二点が長寿の人に共通して言えることだそうです。

どうぞシルバーの仕事やボランティアを通してそれぞれ生き甲斐を見つけて下さい。



北部地区

加藤 勝喜

(10639)

会員の皆様で「数独」を解いて脳の活性化に取り組んでいる方も多いと思いますが、私も新聞のパズル、月刊誌等のクイズを解き、投稿を10年以上続けています。

パズル、クイズを解くため、時には何分間も考えることがあります。メールの時代ですが、私は必ずハガキに手書きで応募します。

それも官製ハガキでなく私製ハガキに記念切手を貼って応募します。昔、収集して、眠っている記念切手の有効活用にもなります。

最後に余白に、時事、世相を反映した一言コメントを書き加えます。読まれることのないコメントかもしれないが、脳のトレーニングとして考えます。そして郵便ポストまで歩いて行くのも良い運動になります。

思わぬ副産物として当選クオカードや当選品が届くことがあります。

皆様もクイズを解いてみませんか。

			7	3				
	1				2	5	9	
		4					8	
8							4	
3								2
	5							1
	8					7		
	4	9	8					6
				6	7			

解答はこちらからどうぞ





八王子流鏝馬

八王子は古代から中世にかけて朝廷直轄の「和ごま（馬）」を飼育する牧場「勅使牧（御牧）」が置かれていました。牧の支配者から「武蔵七党」とよばれる鎌倉幕府の成立に重要な役割を果たした騎馬に巧みな武士団「坂東武者」が生まれました。また戦国時代に八王子城を築いた北条氏照なども乗馬に秀で、流鏝馬に親しんでいたとされています



資料・映像：NPO 法人武州のよりあい より



「やさしい体操」
会場風景はこちら

世話人様有難う、もつともつとやりたかったです。

歌に合わせて、野球のバットと大きなシャモジを併せた様な物を手に、肩や腰、背中等を叩きながら、踊りの様に行いました。

やってみると、是れが何とも楽しく、体に効くのです。終わる頃にはポカポカ体が温かく元気百倍、若さがチヨッピリ戻りました。

お風呂ではありません。2月24日に行われた「きさらぎ」による、やさしい体操の一場面です。美人揃いの中に男二人の参加、少し恥ずかしかったです。

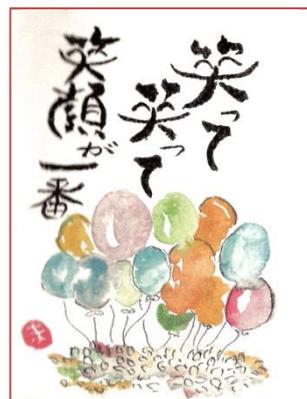
”いい湯だな” 湯気が天井から、イヤー”

きさらぎ 大久保 文二

(3658)

会員だより

興味をお持ちになった方は事務局を通じ西山会員に連絡下さい。



西部地区 西山 正子

(7613)

絵手紙

編集後記

新型コロナウイルスによる規制が緩和され、定時社員総会も会場入場緩和のもと無事終了しました。また、新体制理事会がスタート、その模様をお届けしました。

市民まつり、花火大会も行われ、これからも多くのイベント開催予定が入ってきています。

広報委員会ではこれらのイベントに参加し、広報活動をお届けして行きたいと思えます。

会員の皆様もご参加下さい。



広報委員会では総会の際にパネル展示を行いました